

識別番号・報告回数	B-07025660	第1報	一般的名称	リン酸オセルタミビル	親の身長	親の体重	副作用/有害事象名	該当なし
関連報告番号			親の年齢		cm	kg	熱性譫妄、 熱性譫妄	
親の略名			最終月経日					
曝露時の妊娠期間			発現時の妊娠期間					
親の関連する治療歴及び随伴状態				親の関連する過去の医薬品使用歴				
原病	開始日	終了日	備考	医薬品名	開始日	終了日	使用理由	副作用 (発現した場合のみ)
親の関連する治療歴及び随伴状態 (副作用/有害事象を除く)								
				MedDRA		Version (10.1)		

識別番号・報告回数	B-07026153	第1報	関連報告番号	2008年02月08日	重篤	医学的確認	死亡日	機構処理欄
最新情報入手日	2008年02月15日	第一報入手日	2008年02月08日	死に至るもの 生命を脅かすもの 入院又は入院期間の延長が 必要なもの	報告された死因 (死亡の場合)			
副作用	身長 cm	過去の副作用歴	原疾患・合併症・ 既往歴					
発現国(情報源)	日本 (日本)		インフルエンザ	永続的又は顕著な障害・ 機能不全に陥るもの				
患者略名	A. K.			先天性異常を来すもの				
性別	男性			◎ その他の医学的に重要な状態				新医薬品等の区分 該当なし
年齢	6歳	曝露時の妊娠期間						

医薬品情報

販売名	一般名	被疑薬	経路	剤型	投与量	投与期間		医薬品使用理由	
						投与量/回	回数		開始日
タミフル	リン酸オセルタミビル	S	経口	SYR	39.9mg/1回	1日	08/02/06	08/02/06	インフルエンザ
タミフル	リン酸オセルタミビル	S	経口	SYR	39.9mg/2回	1日	08/02/07	08/02/07	インフルエンザ
タミフル	リン酸オセルタミビル	S	経口	SYR	39.9mg/1回	1日	08/02/08	08/02/08	インフルエンザ
アスベリン	ヒベンズ酸チペピジン	0	経口	SYR	5.2mg/3回	1日	08/02/06	08/02/06	咳嗽
テルギンG	フマル酸クレマスチン	0	経口	SYR	0.3mg/3回	1日	08/02/06	08/02/06	咳嗽
ホクナリン：シロップ	塩酸ソプロロヘロール	0	経口	SYR	0.3mg/3回	1日	08/02/06	08/02/06	咳嗽
ムコサール	塩酸アンブロキシオール	0	経口	SYR	6mg/3回	1日	08/02/06	08/02/06	咳嗽

副作用/有害事象

重要性	副作用/有害事象名 (MedDRA-PT)	副作用/有害事象名 (MedDRA-LLT)	持続期間	発現日	転帰日	投与開始からの 時間間隔	最終投与からの 時間間隔	転帰
重・非	異常行動 (異常行動)	異常行動		08/02/07	08/02/07			回

副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過

TAMIFLU
身長：不明 体重：■kg
2008/02/06
インフルエンザAIに対して、本剤39.9mg×2回/日処方。
午後より内服開始。
2008/02/07
(夜)39.7°Cの高熱があり、突然起き上がり、家の中を走り回った。訳のわからないことを話し、5~10分間続いた。異常行動(非重篤)発現。
その後症状回復。
2008/02/08
(12:30)診察。体温36.7°C。反応は普通で異常なし。
本剤午前内服後、投与中止。

識別番号・報告回数	B-07026153	第1報	関連報告番号	重篤	医学的確認	死亡日	機構処理欄
-----------	------------	-----	--------	----	-------	-----	-------

副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過

患者背景

- ・本剤投与目的：治療投与
- ・インフルエンザ診断日：08/2/6(午後)
- ・ウイルス診断の有無：有(FluA) サンプル採取箇所：経鼻
- ・インフルエンザ発症日：08/2/6 昼
- ・発症時に認められた自覚症状：発熱(39.2-3°C)、咳、鼻水
- ・インフルエンザの転帰：軽快・回復日(08/2/8)
- ・インフルエンザ既往歴：不明
- ・本剤以外のインフルエンザ治療薬による治療歴：不明
- ・睡眠時驚愕症、睡眠時遊行症等の異常に関する既往の有無
- 患者本人：無 患者家族：無
- ・熱性痙攣既往の有無
- 患者本人：不明 患者家族：不明
- ・熱性疾患による錯乱・熱性せん妄等の既往の有無：無
- ・薬物等に対する依存の有無：無
- ・アレルギー歴の有無：不明
- ・本事象発現前の副作用歴の有無：不明
- ・その他の既往症、合併症：不明
- ・[異常行動、精神神経症状について]
- ・副作用名：異常行動 程度：非重篤 転帰：回復 発現日：08/2/7(夜) 転帰日：08/2/7(夜)
- ・本剤との因果関係：関連あり
- ・その他の要因：高熱
- ・走る、暴れる等の動きを伴った：はい
- ・これらの動きを誰かが制止した：はい(誰が制止したか：母親)
- ・副作用は睡眠中：不明
- ・副作用発現後、一眠りして完全に回復した：はい
- ・副作用発現内容を記憶している：記憶なし
- ・発現時の体温：39.7°C(発熱持続中)
- ・副作用発現前24時間以内に解熱剤を服用した：いいえ
- ・以前に同様の副作用を起こしたことがある：いいえ
- ・光をまぶしがったり、明るくするとさらに興奮した：不明
- ・今回の副作用発現後に入院した：いいえ
- ・入院なしの場合、副作用発現後に医師の診察を受けた：はい

識別番号・報告回数	第1報	リン酸オセルタミビル	該当なし
担当医等の意見		報告企業等の意見	
<p>高熱があり、体調不良の状態であり、これだけでも異常反応が出現する可能性もある。本剤を服用中であつたことも異常行動に結びつくと考へる。</p>		<p>異常行動は本剤投与後に発現しているため本剤との関連性は否定できないが、インフルエンザウイルス感染および発熱による影響も考へられる。</p>	
今後の対応			
<p>今後とも同様の副作用の収集に努め、評価していく。 なお、2007年3月20日、警告欄に「10歳以上の未成年の患者においては、因果関係は不明であるものの、本剤の服用後に異常行動を発現し、転落等の事故に至つた例が報告されている。このため、この年代の患者には、合併症、既往歴等からハイリスク患者と判断される場合を除いては、原則として本剤の使用を差し控へること。また、小児・未成年者については、方が一の事故を防止するための予防的な対応として、本剤による治療を開始された後は、(1)異常行動の発現のおそれがあること、(2)自宅において療養を行う場合、少なくとも2日間、保護者等は小児・未成年者が一人にならないよう配慮することについて患者・家族に対し説明を行うこと。 なお、「インフルエンザ脳症等によつても、同様の症状が現れる」との報告があるもので、上記と同様の説明を行うこと。」を記載し、緊急安全性情報配布し医療関係者に注意喚起を行った。</p>			
送信者による診断名/症候群及び/又は副作用/有害事象の再分類		第一次情報源により報告された副作用/有害事象	
		異常行動	
累積報告件数・使用上の注意記載状況等			
<p>本症例は報告医より非重篤と評価されていたが、異常行動の内容より会社として重篤と判断した。 1. 使用上の注意記載状況 (国内) 重大な副作用欄：精神・神経症状 (意識障害、異常行動、譫妄、幻覚、妄想、痙攣等) (GDS) Psychiatric disorders/Nervous system disorders 2. 累積報告件数 2007年4月9日以降の異常な行動：202件 (本件を含む)</p>			
引用文献		資料一覧	
MedDRA		Version (11.0)	

(様式第2(二))
 医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国)

識別番号・報告回数	B-07026153	第1報	一般的名称	リン酸オセルタミビル	該当なし	2 / 5
引用文献				資料一覧		
				MedDRA	Version (11.0)	

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国) 検査及び処置の結果

識別番号・報告回数	B-07026153		第1報	リン酸オセルタミビル		該当なし	
検査	単位	正常範囲 低値	08/02/06	08/02/07	08/02/08	08/02/08	
	°C	正常範囲 高値	37.6	37.5	39.7	37.7	36.7
体温							
その他の情報の有無							
診断に関連する検査及び処置の結果							
MedDRA Version (11.0)							

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国) 過去の治療歴に関する情報

識別番号・報告回数	B-07026153		第1報	リン酸オセルタミビル		該当なし	
原疾患・合併症・既往歴	治療開始日	治療終了日	備考		関連する過去の医薬品使用歴		
	インフルエンザ	継続	原疾患	治療終了日	開始日	終了日	使用理由 副作用 (発現した場合はのみ)
その他の記述情報 (外来、職業(幼稚園児)							
MedDRA Version (11.0)							